品 番

ACY-A型

家庭用

コーヒーメーカー

ドリップタイプ

取扱説明書

保証書つき

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

日本国内 100V 専用

交流 100V 以外の電源では使用できません。

ご意見をお寄せください。

http://www.tiger.jp/

ふわふわの泡ミルクもおまかせ！
簡単・手軽に本格派コーヒーをご家庭で

家族や友達と過ごす楽しい時間、
のんびりくつろぐときに…
ちょっぴり贅沢な
コーヒー生活はじめましょう。

ステンレスのコーヒーサーバーで
いれたてのおいしさをキープ

ホットコーヒー
アイスコーヒー

真空2重構造のステンレスのコーヒーサーバーで保温するので、コーヒーの煮つまりを防ぎ、風味・香りを逃しません。
コーヒーサーバーに氷を入れて冷やし、アイスコーヒーとしてもどうぞ。

ふわふわの泡ミルクで
楽しくアレンジ

スチームミルク機能

専用のミルクカップにミルクを注いでセット。
できあがった泡ミルクをコーヒーに注ぎ入れると、アレンジコーヒーを楽しめます。

コーヒーをおいしく楽しむためのポイント

**豆や粉は
必要な分だけ買う**
1週間から10日程度で使いきる量を買うようにしましょう。また、飲むたびに必要な分だけミルで挽いてドリップするとよいでしょう。

**豆や粉を
保存するときは
密封して冷蔵庫に**
高温多湿に弱く香りがとびやすいので、密封できる容器に入れ、冷蔵庫など低温のところで保存しましょう。

**なるべく早めに
飲みましょう**
冷めたり、風味がそこなわれてしまうので、早めに飲みましょう。

代表的な
コーヒー豆の
種類と特長

中味
・ブルーマウンテン
・ブラジル
・サルバドル

酸味
・キリマンジャロ
・モカ
・コロンビア
・ガテマラ
・ハワイコナ

苦味
・マンデリン
・ロブスタ

もくじ

この取扱説明書では、コーヒー豆を挽いた後のものをコーヒー粉として表記しています。

安全上のご注意

ご使用前によくお読みの上、
必ずお守りください。

◆ここに表した注意事項は、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
◆本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、以下の表示で区分して説明しています。

⚠警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことが想定される内容を示します。
⚠注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定される内容を示します。

*1 重傷とは、失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2 傷害とは、治療に入院・長期の通院を要さないけがややけど、感電などをさします。
*3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

	△記号は、警告、注意を示します。具体的な注意内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。
	⃠記号は、禁止の行為であることを示します。具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を示します。具体的な指示内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。

⚠警告

改造はしない。
修理技術者以外の人は分解したり、修理をしない。
（サーバーふたは、お手入れ時に分解できます。）
火災・感電・けがの原因。

交流100V以外では使用しない。（日本国内100V専用）
火災・感電の原因。

定格15A以上のコンセントを単独で使用する。
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して、発火するおそれ。

電源コードは、破損したまま使用しない。また、電源コードを傷つけない。
（加工する・無理に曲げる・高温部に近づける・引っ張る・ねじる・たばねる・重いものを載せる・挟み込むなど）
火災・感電の原因。

差込プラグにほこりが付着している場合は、よくふき取る。
火災の原因。

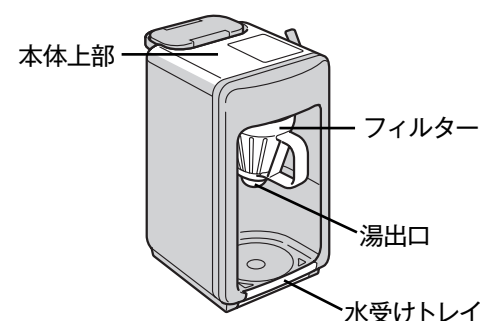
差込プラグは根元まで確実に差し込む。
感電・ショート・発煙・発火のおそれ。

電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電・ショート・発火の原因。

ぬれた手で、差込プラグの抜き差しをしない。
感電やけがをするおそれ。

フィルター・コーヒーサーバー、またはミルクカップセットを取りつけない状態で使わない。
やけどや故障のおそれ。

子供だけで使わせたり、幼児の手が届くところで使わない。
やけど・感電・けがをするおそれ。

使用中や使用後しばらくは湯出口・フィルター・本体上部・水受けトレイなどの高温部に触ったり、顔などを近づけない。
やけどをするおそれ。特に乳幼児には、さわらせないように注意する。

本体は、水につけたり、水をかけたりしない。
ショート・感電のおそれ。

安全上のご注意

⚠警告

必ず実施

異常・故障時には、直ちに使用を中止する。

そのまま使用すると、火災・感電・けがのおそれ。

〈異常・故障例〉

- ご使用中、電源コード、差込プラグが異常に熱くなる。
- 電源コードを折り曲げると通電したり、しなかったりする。
- 水タンクや本体から水もれする。
- その他の異常や故障がある。

すぐにプラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼する。

禁止

壁や家具の近くでは使わない。

蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因。キッチン用収納棚などを使うときは、中に蒸気がこもらないように注意する。

禁止

倒したり落としたりぶつけたり、強い衝撃を与えない。

故障や、水タンク・水タンクふた・コーヒーサーバーなどが破損してけがをするおそれ。

禁止

専用のコーヒーサーバー以外は使わない。

お湯があふれて、やけどや故障するおそれ。また、テーブルや敷物を汚す原因。

禁止

抽出中にコーヒーサーバーをはずしたり、サーバーレバーを触らない。

やけどや、テーブル・敷物を汚す原因。

禁止

コーヒーサーバーをのせたまま本体を動かさない。

やけどやけがの原因。

禁止

コーヒーサーバーを直接火にかけたり、電子レンジで使わない。

破損して、やけどやけがの原因。

禁止

コーヒーサーバーを冷蔵庫や冷凍庫に入れない。

破損して、けがの原因。

禁止

水タンクに水が入っていない状態でのカラだきはしない。

故障や火災の原因。

禁止

水受けトレイをはずして使わない。

やけど・テーブルや敷物を汚す原因。

禁止

ミルク泡立て中に、ミルクカップをはずさない。

蒸気によるやけどの原因。

必ず実施

ミルクを泡立てるときは、スチーム時間の目安を守る。 →P.20

時間が長すぎると、あふれてやけどの原因。

必ず実施

続けて使用するときは、本体が冷めるまで（約10分）待つ。

すぐに水を入れたり、動かしたりすると、蒸気が噴出してやけどをするおそれ。

禁止

本体を丸洗いしたり、本体内部や底部に水を入れたりしない。

ショート・感電のおそれ。

必ず実施

お手入れは冷えてから行う。

高温部にふれると、やけどのおそれ。

⚠注意

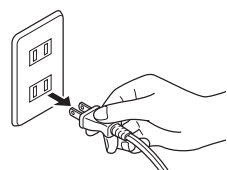
プラグを抜く

使用時以外は、差込プラグをコンセントから抜く。

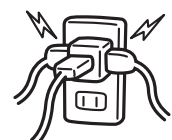
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

必ず実施

必ず差込プラグを持って引き抜く。

感電やショートして発火するおそれ。

禁止

タコ足配線はしない。

火災のおそれ。

禁止

不安定な場所、熱に弱いテーブルや敷物などの上では使わない。

火災や、テーブル・敷物の変色・変形の原因。

末永くご使用いただくためのご注意

- **火気の近くでは使わない。**

  変形・故障の原因。

- **業務用として使わない。**

  故障の原因。

- **水タンクに水以外のものを入れない。**

  故障の原因。

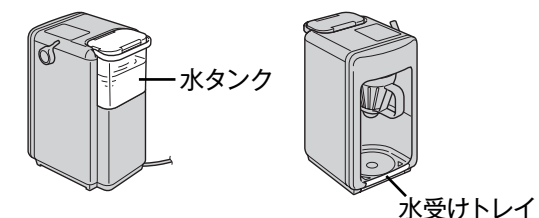
- **指定の大きさのペーパーフィルター以外は使わない。** →P.9

  うまくドリップできない・故障・コーヒーがあふれる原因。

- **水タンクに水を入れてセットした後は、水タンクをはずさない。**

  本体内にたまった水が逆流して、水もれや故障の原因。

- **水タンク・水受けトレイに水を入れたまま放置しない。**

  故障や変色・におい・腐敗の原因。

- **フィルター・散水板・コーヒーサーバー・ミルクカップセットは、使うたびにお手入れする。**

  においの原因。

- **ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用した場合は、よりこまめにお手入れする。**

  本体内部にカルシウム分が付着しやすくなったり、また、付着したカルシウム分がはがれて本体内のお湯の出口をふさぐなど、故障の原因。

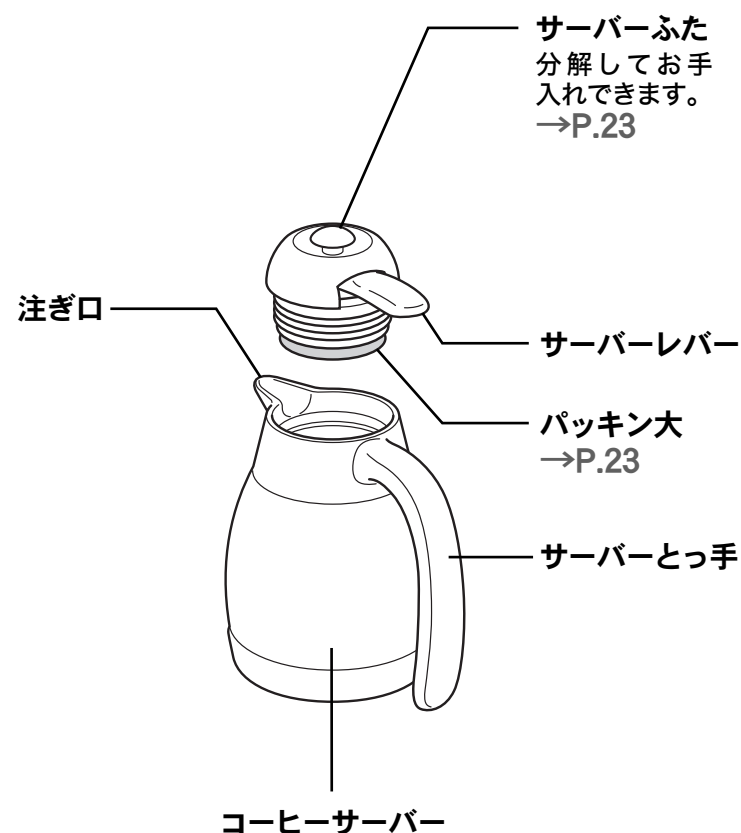
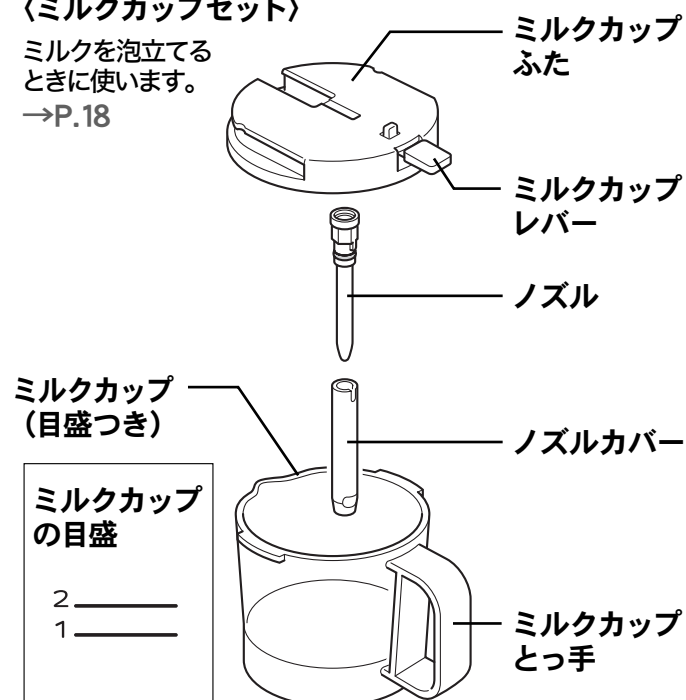
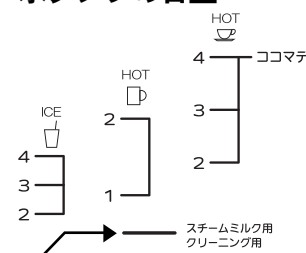
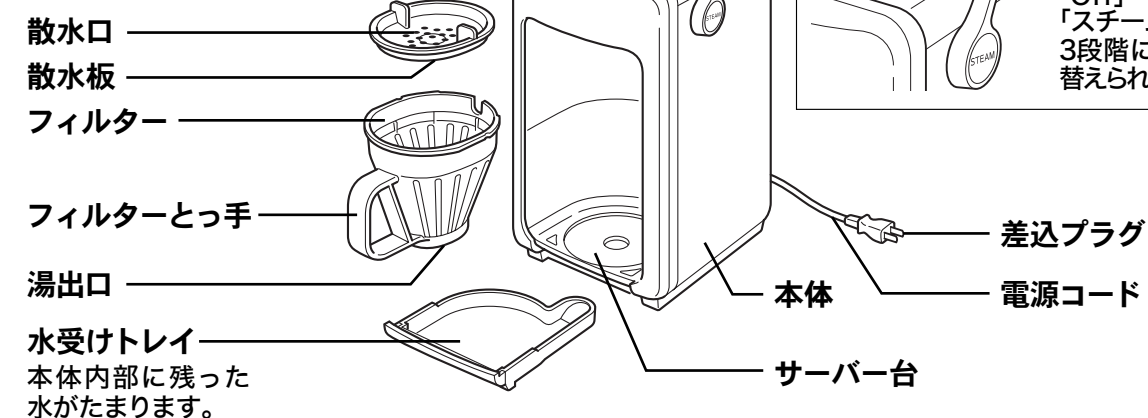
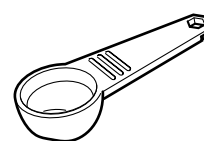
- **コーヒーサーバーをななめに傾けたり、サーバーレバーを押したまま、持ち運びしない。**

  内容物がもれて、やけどのおそれ。

- **コーヒーサーバーを落とさない。**

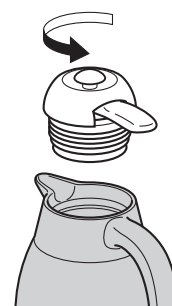
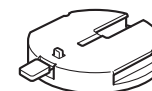
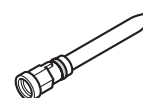
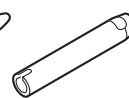
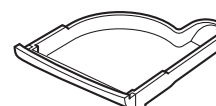
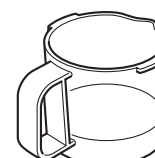
  保温効果が下がる原因。

各部のなまえと付属品

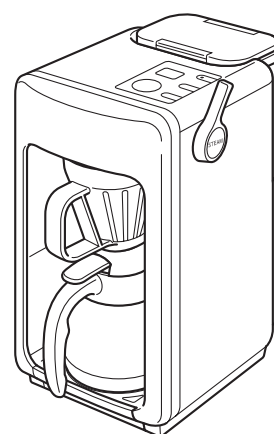
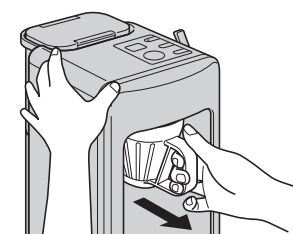
箱をあけたら、
まず確認しましょう！

計量スプーン…1個
すり切り1杯 約7g

ペーパーフィルター…5枚
市販のものも使えます。
（サイズ1×2または102）

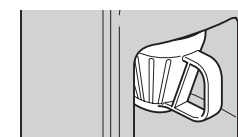
はじめて使うとき しばらく使わなかったとき

お手入れして、ドリップで本体内を洗浄。コーヒーメーカーをきれいにするのが、おいしいコーヒーづくりの第一歩！

1 サーバーふたをはずす。

2 本体以外の部品は、水洗いする。コーヒーサーバー内側は、水ですすぐ。→P.23

3 本体内を洗浄するために、1～2回ドリップする。

→P.12～17

水は、水タンクの☕の目盛「4」まで入れる。
（コーヒー粉やペーパーフィルターは、セットしない。
ドリップ後のお湯はすてる。）

フィルターのはずしかた・つけかた

◆はずしかた

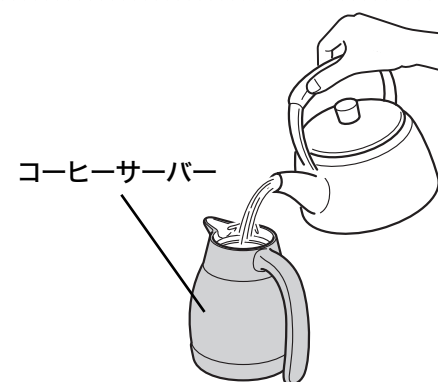
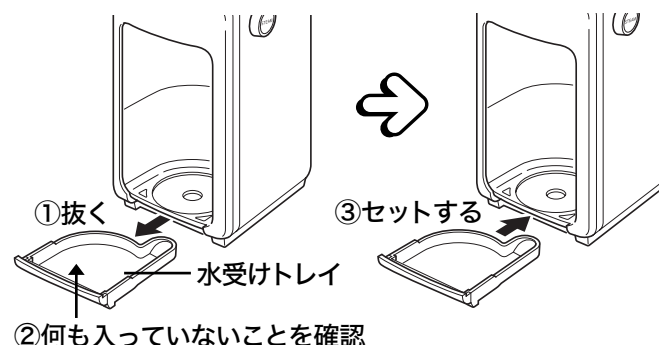
◆つけかた

ご注意

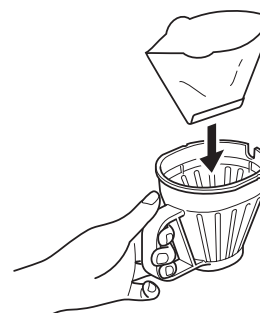
◆水受けトレイは確実にセットする。お湯があふれて、やけどのおそれ。
◆水タンク以外に水を入れない。
◆フィルターを差し込むときは、奥まで確実に入っていることを確認する。
フィルターが脱落したり、コーヒー（お湯）があふれるおそれ。

ホットコーヒーをいれる アイスコーヒーをつくる ―ドリップ

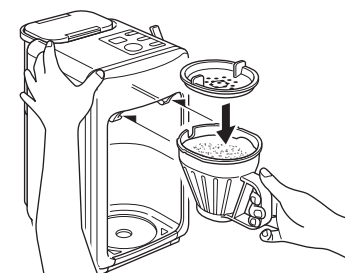
コーヒーサーバーが煮つまりを防いで、おいしさをキープしてくれるのね。

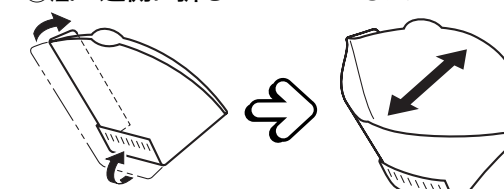
コーヒーサーバーに熱湯を約半分まで入れ、1 ～ 2分温める。(ホットコーヒーのときのみ)

保温効果を高めるためです。
温まったら、お湯をすてる。

水受けトレイに何も入っていないことを確認し、確実にセットする。

ペーパーフィルターをフィルターにセットする。

市販のペーパーフィルターも使えます。→P.9

付属の計量スプーンで、コーヒー粉をペーパーフィルターに入れて上面をならす。

【アイスコーヒーをつくるとき】
アイス用コーヒー粉を使います。

フィルターに散水板をつけ、本体にセットする。→P.11

ペーパーフィルターの折りかた

底と横のミシン目を、約1cm折り曲げます。

コーヒー粉を入れる目安

◆コーヒー粉はお好みにより加減する。
◆カップ数より少ない量はつくらない。

ホットコーヒー

カップ数	コーヒー粉（計量スプーンすり切り）	
	マグカップ 約180mL	コーヒーカップ 約120mL
1カップ	1.5杯	−
2カップ	3杯	2杯
3カップ	−	3杯
4カップ	−	4杯

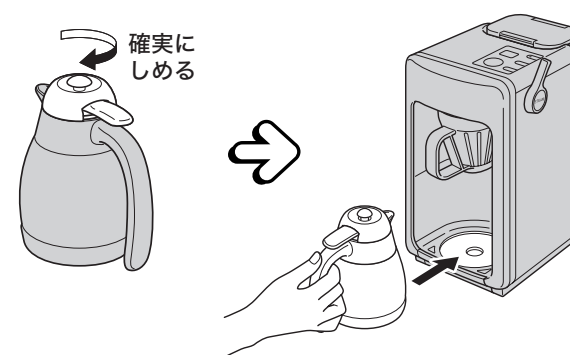
アイスコーヒー

カップ数	コーヒー粉（計量スプーンすり切り）
	1カップ 約60mL
2カップ	2杯
3カップ	3杯
4カップ	4杯

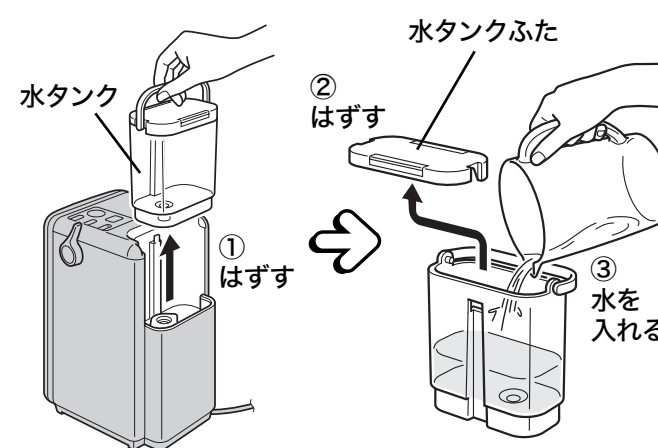
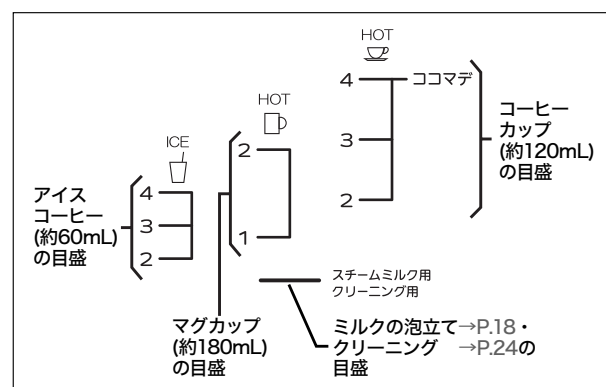
ご注意

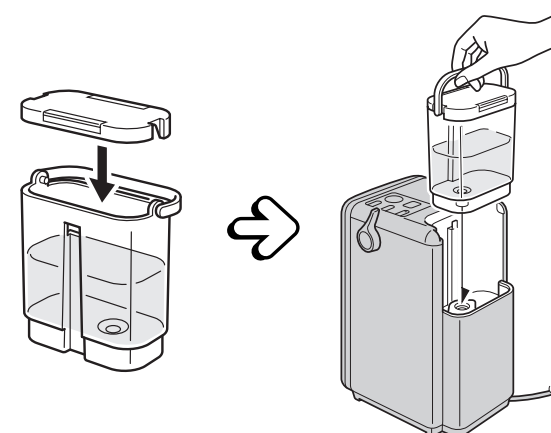
◆散水板はフィルターに必ずつける。
コーヒー粉の飛び散りの原因。
◆水受けトレイにお湯（水）などが入った状態でドリップしない。また、水受けトレイは確実にセットする。お湯があふれて、やけどのおそれ。

ホットコーヒーをいれる
アイスコーヒーをつくる
—ドリップ

コーヒーサーバーを本体に確実に正しくセットする。

水タンクをはずし、水タンクに水を入れる。

つくるコーヒーのカップ数に応じた目盛まで水を入れます。
（ の目盛「4」を超えて、水を入れない。コーヒーサーバーからコーヒーがあふれるおそれ。）

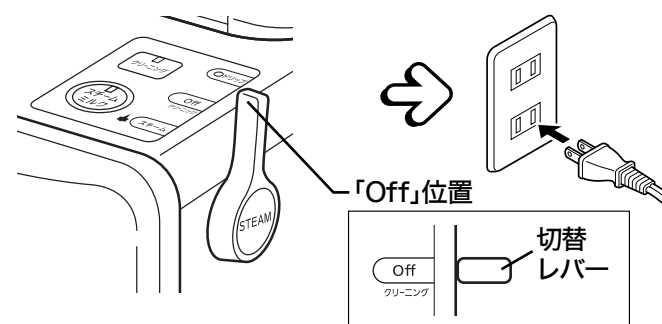
水タンクふたをしめ、水タンクを本体に確実にセットする。

水タンクについて

◆水タンクには、水を入れる。
お湯や熱湯を入れてドリップすると、故障の原因になります。
◆水タンクは、必ず本体からはずして水を入れる。本体にセットしたまま水を入れると、水管に水が流れ込み、水量が多くなります。
◆水タンクは、確実にセットする。

サーバーふたは必ずしめる。コーヒーがこぼれる原因。

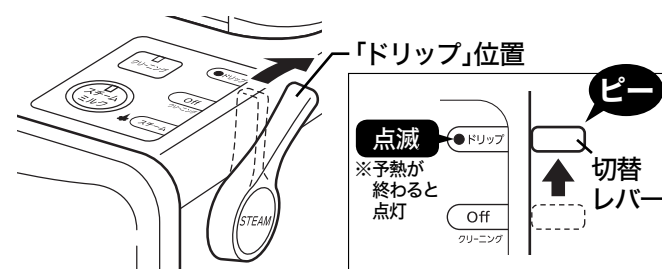
ホットコーヒーをいれる アイスコーヒーをつくる

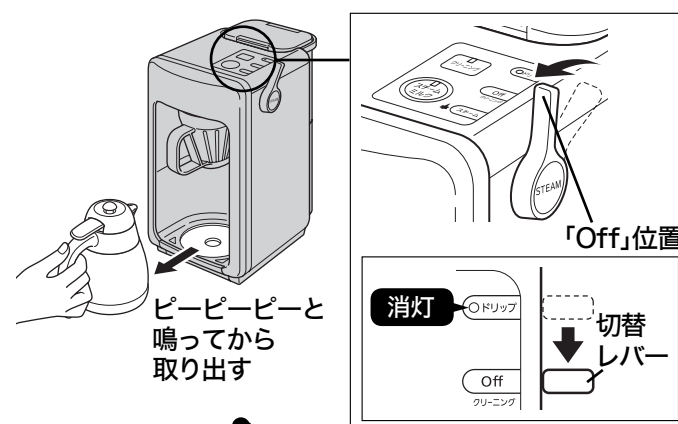
—ドリップ

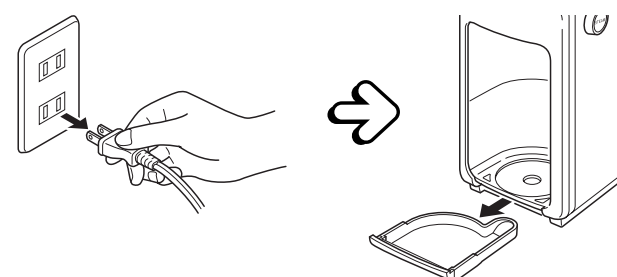
9 切替レバーが「Off」位置になっていることを確認し、差込プラグをコンセントに差し込む。

切替レバーが「Off」位置になっていないときは、「ピピピ」と音が鳴り、3つのランプが点滅してお知らせします。

10 切替レバーを「ドリップ」位置に合わせる。

予熱中はドリップランプが点滅し、ランプが点灯に切り替わったら、ドリップを開始します。

※予熱不要の場合は、ドリップランプが点灯します。

11 ドリップが終わったらピーピーピーと音が鳴り、ドリップランプが消灯。切替レバーを「Off」位置に合わせ、コーヒーを注ぐ。

お湯や蒸気が完全に止まってから取り出し、サーバーレバーを押しながらカップなどに注ぐ。

【アイスコーヒーをつくるとき】
①サーバーふたをはずし、コーヒーサーバーに氷を入れて、かきまぜながら冷やす。
（氷はドリップ後に入れる。）
②サーバーふたをつけて、サーバーレバーを押しながら注ぐ。

12 差込プラグをコンセントから抜き、1分以上経ってから、水受けトレイのお湯（水）をすてる。

熱めのコーヒーをお好みの方は

あらかじめ熱湯などで温めておいたカップに注ぎます。

コーヒーの温度について

コーヒーサーバーが保温しますが、時間経過とともに冷めていきます。

ドリップ後のコーヒー粉は取り出す

冷めてから、フィルターをはずし、ペーパーフィルターごと取り出します。

続けてつくるとき

①本体が冷めるまで（約10分）待つ。
②P.12からの手順で、再度、ドリップする。

できあがり時間の目安

約5 ～ 8分でできあがります。
※できあがり時間は、室温・水量・コーヒー粉の量などにより変わります。

本体の音について

切替レバーを「Off」位置に戻した後、本体内部の水を外へ出すため、10 ～ 20秒程度、音が鳴ります。

ご注意

◆ドリップ中にコンセントは抜かない。
間違って抜いた場合は、一度切替レバーを「Off」位置に戻し、再度「ドリップ」位置に合わせる。
◆サーバーふたをしめた状態でも、コーヒーがこぼれるため、コーヒーサーバーを傾けない。
◆コーヒーサーバーを傾けた状態で、サーバーレバーを離さない。サーバーふたの内部に少量のコーヒーが残り、持ち運ぶときなどにコーヒーがもれるおそれ。

泡ミルクをつくる ―スチーム

ふわふわの泡ミルクがつくれるから、
デザート感覚のアレンジコーヒーが楽しめるのね。

水受けトレイに何も入っていないことを確認し、確実にセットする。→P.12

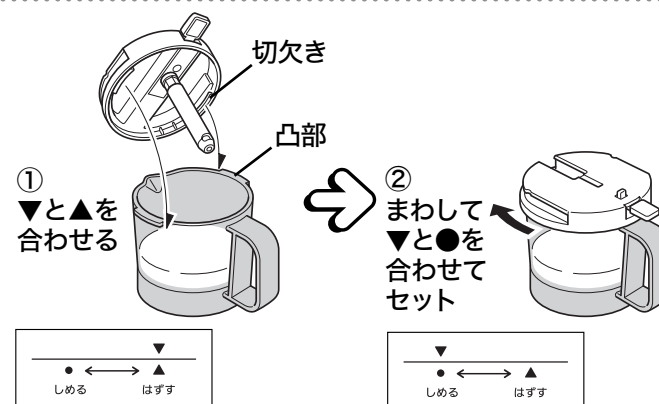
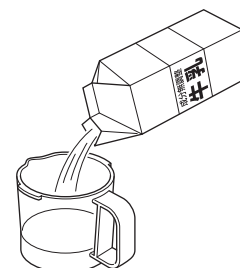
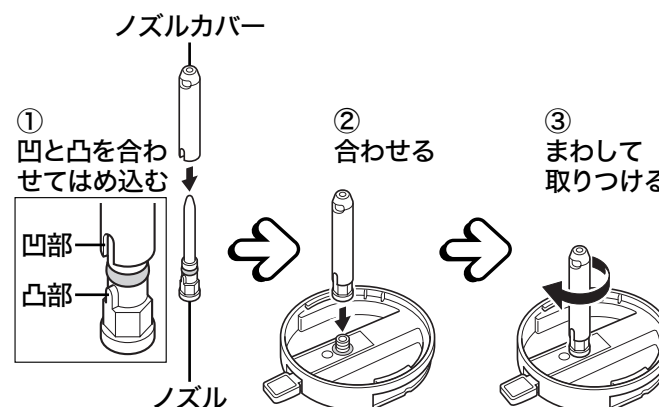
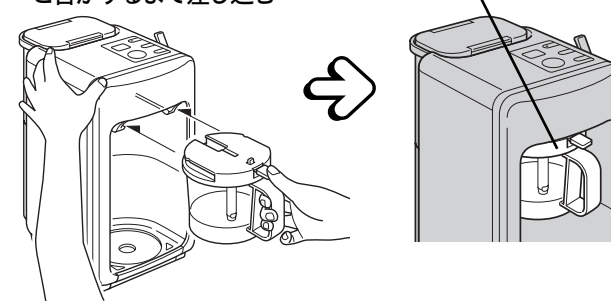
ミルクカップふたに、ノズル・ノズルカバーを取りつける。

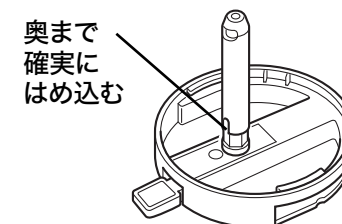
水タンクをはずし、水タンクのスチームミルク用の目盛まで水を入れ、本体にセットする。→P.14

ミルクカップの目盛「1」または目盛「2」まで成分無調整牛乳を入れる。

◆1杯分：約60mL （目盛「1」）
◆2杯分：約100mL（目盛「2」）

ミルクカップふたをセットする。

6 ミルクカップセットを本体に取りつける。

ノズルカバーは確実にセットする

ノズル・ノズルカバーが確実にセットされていないと、うまく泡立ちません。

牛乳は成分無調整乳を使う

加工乳・低脂肪乳・生クリーム・コーヒー用ミルク（コーヒーフレッシュ）などを使うと、うまく泡立ちません。

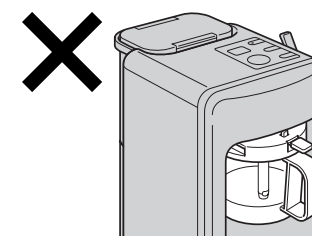
牛乳は冷たいものを使う

牛乳の温度が高いと、うまく泡立ちません。

牛乳は目盛「1」（約60mL）以上入れる

目盛「1」（約60mL）未満の場合、うまく泡立ちません。

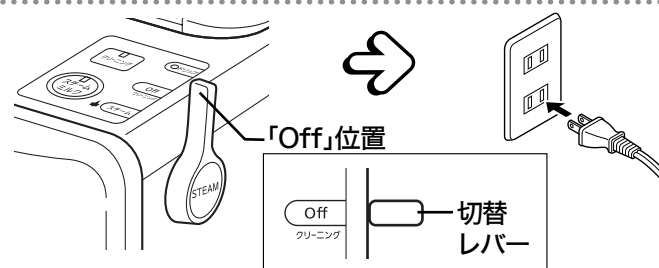
ミルクカップセットは確実に取りつける

奥まで入っていない。

ご注意

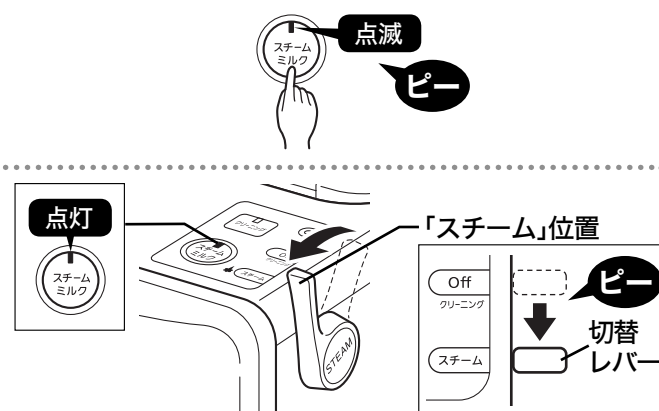
◆水タンクには、水を入れる。
間違って牛乳を入れると、故障の原因。
◆目盛「2」（約100mL）を超えて、牛乳を入れない。ミルクカップから泡ミルクがあふれて、やけどのおそれ。
◆ノズル取りつけ部のパッキンをはずさない。

泡ミルクをつくる

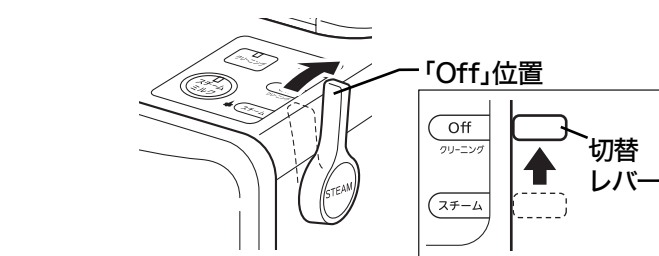
—スチーム

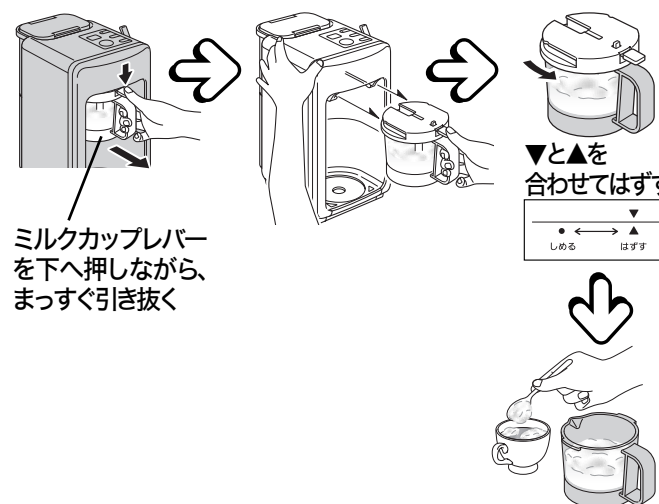
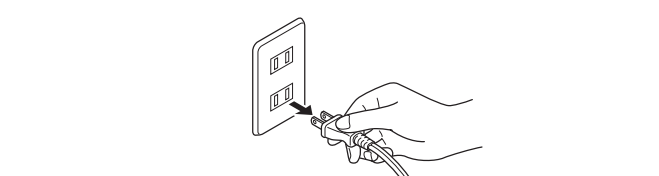
切替レバーが「Off」位置になっていることを確認し、差込プラグをコンセントに差し込む。

（スチームミルク）を押す。

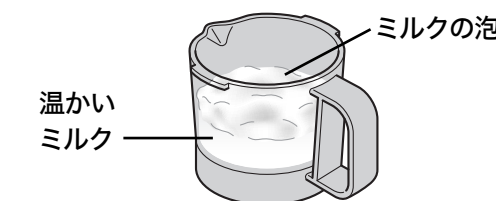
スチームミルクランプが点滅（予熱がはじまる）。

スチームミルクランプが点灯に変わったら（予熱終了）、切替レバーを「スチーム」位置に合わせ、泡立てを開始する。

泡ミルクの状態を確認して、切替レバーを「Off」位置に合わせて止める。

スチームは自動では止まりません。

【スチーム時間の目安】
◆1杯分（約60mL）　：約30秒
◆2杯分（約100mL）：約60秒

ミルクカップセットを本体から取りはずし、ミルクカップふたをはずして、泡ミルクをコーヒーに入れる。

泡ミルクの上に、シナモンパウダーやキャラメルソースをトッピングして、アレンジコーヒーを楽しめます。

差込プラグをコンセントから抜き、1分以上経ってから、水タンクの水・水受けトレイのお湯（水）をすてる。

泡ミルクについて

ミルクの泡と温かいミルクの2層にわかれます。

◆ミルクの泡 ……… スプーンでのせる
◆温かいミルク …… 注ぐ

本体の音について

切替レバーを「Off」位置に戻した後、本体内部の水を外へ出すため、10 ～ 20秒程度、音が鳴ります。

ご注意

◆予熱できていない状態で、切替レバーを「スチーム」位置に合わせると、「ピピピ」と音が鳴り、スチームが出ません。
◆ミルクカップセットが確実に取りつけられていないと、（スチームミルク）を押したとき「ピピピ」と音でお知らせします。
「ピー」と音が鳴るまで、確実に取りつける。
◆泡立てを開始すると、「キュー…」と音が鳴りますが、故障ではありません。
◆ミルクを長く（90秒以上）泡立てない。ミルクカップから泡ミルクがあふれて、やけどのおそれ。
◆泡ミルクを入れるときは、必ずミルクカップふたをはずして入れる。
ミルクがもれて、やけどのおそれ。

お手入れする

こまめにお手入れして、清潔・長持ち！

◆差込プラグを抜き、冷えてからお手入れします。
◆洗剤でお手入れするときは、台所用合成洗剤（食器用・調理器具用）を使います。
◆スポンジ・歯ブラシ・布はやわらかいものを使います。

使うたびに　洗う部品

フィルター

水タンクふた　水タンク　散水板　水受けトレイ　ミルクカップふた　ミルクカップ　ノズル　ノズルカバー　サーバーふた

※汚れてきたら、P.23のようにはずして洗う。

1 洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジや歯ブラシを使って洗い、水ですすぐ。

2 サーバーふたを振って、穴から水を抜く。

3 乾いた布で水分をふき取り、充分に乾燥させる。

コーヒーサーバー

1 内側は、洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジや歯ブラシを使って洗い、水で充分にすすぐ。汚れが目立ってきたら、クエン酸（約10g）をぬるま湯でうすめてコーヒーサーバーに入れ、2～3時間後にやわらかいブラシできれいに洗い、水で充分にすすぐ。

2 外側は、洗剤をうすめたお湯に布をひたし、かたくしぼってふく。

3 乾いた布で、水分・洗剤分をふき取り、充分に乾燥させる。

コーヒーの汚れには、ステンレスボトル用洗浄剤TAA-A100（別売品）のご使用をおすすめします。

ご注意

◆シンナー類・クレンザー・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなどは使わない。
◆食器洗浄機や食器乾燥器、熱湯などは使わない。
◆コーヒーサーバーのつけおき洗いをしない。
◆水タンクのパッキンは、はずさない。水もれの原因。

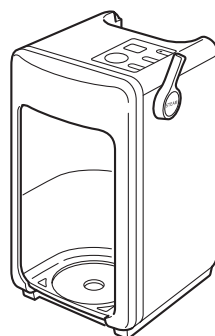
水タンク　パッキン

◆ミルクカップふた、ノズルのパッキンは、はずさない。
◆ノズル先端の穴に汚れが付着した場合は、細い棒状のものを差し込んで取り除く。

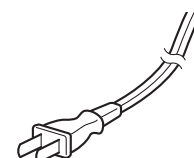
汚れるたびにお　手入れする箇所

本体

1 洗剤をうすめたお湯に布をひたし、かたくしぼってふく。

2 乾いた布で、水分・洗剤分をふき取り、充分に乾燥させる。

電源コード

差込プラグ

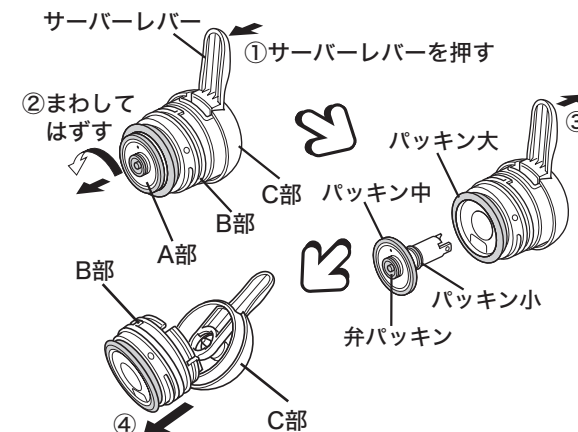
乾いた布でふく。

ご注意

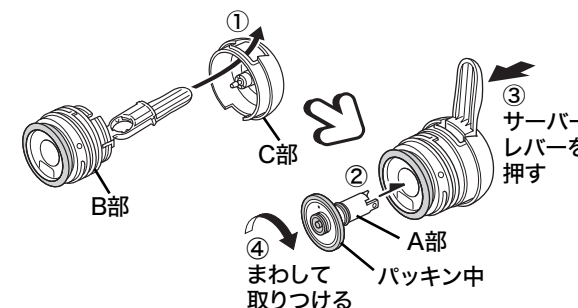
本体を水につけたり、水をかけたりしない。

サーバーふたのはずしかた・つけかた

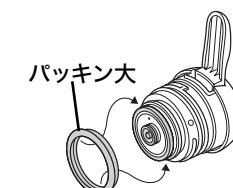
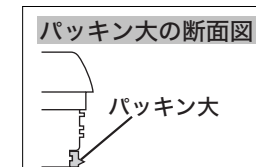
はずしかた

※必ずA部をはずしてからB・C部をはずす。

サーバーレバー　①サーバーレバーを押す　②まわしてはずす　③　④　A部　B部　C部　パッキン大　パッキン中　パッキン小　弁パッキン

つけかた

〈A部を取り付けるとき〉
「カチッ」と音がするまでまわして取りつける。
※パッキン中のねじれやはずれに注意する。

ご注意

◆パッキン中がはずれたときは、注意して奥まできっちりはめ込む。

◆パッキン大がはずれたときは、向きに注意して奥まできっちりはめ込む。

◆弁パッキンとパッキン小は、はずさない。故障の原因。

ドリップのお湯の出具合が悪くなったとき

クエン酸を使って、ミネラル成分を取り除く。

① 水受けトレイに何も入っていないことを確認し、確実にセットする。→P.12

② 散水板をフィルターにつけ、フィルター（ペーパーフィルターは不要）をセットする。→P.11

③ コーヒーサーバーをセットする。→P.14

④ 水タンクに、クエン酸約10g（大さじ1杯）を入れ、☕の目盛「4」まで水を入れてまぜる。

⑤ 水タンクふたをしめ、水タンクを本体にセットする。→P.14

⑥ 切替レバーが「Off」位置になっていることを確認し、差込プラグをコンセントに差し込む。→P.16

⑦ クリーニングと スチームミルクを 2秒以上長押しする（クリーニングランプが点滅）。

⑧ 切替レバーを「ドリップ」位置に合わせる。→P.16

⑨ ピーピーピーと鳴って、クエン酸洗浄が自動的に止まったら、切替レバーを「Off」位置に合わせる。

⑩ 約10分たったら、水タンクに残ったクエン酸水をすてて、すすぐ。

⑪ 1分以上経ってから、コーヒーサーバー・水受けトレイのお湯（水）をすてる。

⑫ クエン酸水のにおいをとるために、水タンクの☕の目盛「4」まで水を入れ、1～4回ドリップする。→P.12
※ペーパーフィルター・コーヒー粉はセットしない。ドリップ後のコーヒーサーバー・水受けトレイのお湯（水）はすてる。

スチームのお湯の出具合が悪くなったとき

クエン酸を使って、ミネラル成分を取り除く。

① 水受けトレイに何も入っていないことを確認し、確実にセットする。→P.12

② ミルクカップセットを取りつける。→P.18

③ 水タンクに、クエン酸約10g（大さじ1杯）を入れ、☕の目盛「4」まで水を入れてまぜる。

④ 水タンクふたをしめ、水タンクを本体にセットする。→P.14

⑤ 切替レバーが「Off」位置になっていることを確認し、差込プラグをコンセントに差し込む。→P.20

⑥ クリーニングと スチームミルクを 2秒以上長押しする（クリーニングランプが点滅）。

点滅

⑦ 切替レバーを「スチーム」位置に合わせる。→P.20

⑧ ピーピーピーと鳴って、クエン酸洗浄が自動的に止まったら、切替レバーを「Off」位置に合わせる。

⑨ 約10分たったら、水タンクに残ったクエン酸水をすてて、すすぐ。

⑩ 1分以上経ってから、ミルクカップセット・水受けトレイのお湯（水）をすてる。

⑪ クエン酸水のにおいをとるために、水タンクのスチームミルク用の目盛まで水を入れ、1～4回スチームを出す（ミルクカップの目盛「1」まで水を入れる）。→P.18
※牛乳は入れない。スチーム後のミルクカップセットのお湯（水）はすてる。

本体内部に残った水を排水する（クリーニング）

① 水受けトレイに何も入っていないことを確認し、確実にセットする。→P.12

② 水タンクをはずし、クリーニング用の目盛まで水を入れて本体にセットする。→P.14

③ 切替レバーが「Off」位置になっていることを確認し、差込プラグをコンセントに差し込む。→P.16

④ クリーニングを押す。（クリーニングランプが点滅）

⑤ クリーニングが終わったら（水がなくなったら）、ピーピーピーと鳴って、クリーニングランプが消灯。1分以上経ってから、水受けトレイのお湯（水）をすてる。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、ご確認ください。

こんなとき	ご確認いただくこと	直しかた	参照ページ
キーを押したり、切替レバーを操作しても、ランプがつかない。	差込プラグをコンセントに、差し込んでいますか。	差込プラグをコンセントに、差し込む。	16・17 20・21
お湯が出ない。	水タンクに水が入っていますか。	水タンクに水を入れる。	14・15 18・19
	水タンクがセットされていますか。	正しく確実にセットする。	
	湯出口・ノズルの先端に汚れが付着していませんか。	お手入れする。	22・23
お湯の出具合が悪い。（時間がいつもより長くかかる）	–	ミネラル成分を取り除く。	24
コーヒーサーバーからあふれる。	サーバーふたが目詰まりしていませんか。	サーバーふたをお手入れする。	23
	水タンクに水を入れすぎていませんか。	水タンクの☕の目盛「4」を超えて、水を入れない。	14・15
	フィルター・散水板をセットしていますか。	フィルター・散水板を確実にセットする。	12・13
水受けトレイからあふれる。	水受けトレイにお湯（水）などが入ったままになっていませんか。	水受けトレイに何も入っていない状態で使う。	12・13 18・24
水受トレイから蒸気が出る。	続けて使っていませんか。	続けて使うときは、本体が冷めるまで（約10分）待つ。	21
ミルクカップから泡があふれる。	スチーム時間が長すぎませんか。	スチーム時間を短くする。	21
	牛乳の量が多すぎませんか。	牛乳の量を減らす。	19
ミルクが泡立たない。			
	牛乳の量が少なすぎませんか。	ミルクカップの目盛「1」以上の牛乳を入れる。	19
	加工乳・低脂肪乳・生クリーム・コーヒー用ミルク（コーヒーフレッシュ）などを使っていませんか。	成分無調整の牛乳を使う。	19
	ノズル・ノズルカバーがセットされていますか。	正しく確実にセットする。	18・19
	牛乳の温度が高くないですか。	冷たい牛乳を使う。	19

故障かな？と思ったら

こんなとき		ご確認いただくこと		直しかた		参照ページ
スチームが出ない。	▶	切替レバーを「スチーム」位置に合わせていますか。	▶	切替レバーを「スチーム」位置に合わせる。	▶	20・21
	▶	ノズル・ノズルカバーがセットされていますか。	▶	正しく確実にセットする。	▶	18・19
「ピピピ」と音が鳴り、スチームが出ない。	▶	スチームミルクランプが点灯していますか。	▶	スチームミルクを押し、ランプが点灯するまで待つ。	▶	20・21
	▶	ミルクカップセットが取りつけられていますか。	▶	ミルクカップセットを正しく取りつける。	▶	18・19
「ピピピ」と音が鳴り、ドリップできない。	▶	ミルクカップセットを取りつけて、切替レバーを「ドリップ」位置に合わせていませんか。	▶	フィルターとコーヒーサーバーをセットする。	▶	12 〜 15
「ピピピ」と音が鳴り、3つのランプが点滅し、作動しない。	▶	差込プラグを差すときに、切替レバーが「Off」位置以外になっていませんか。	▶	切替レバーを「Off」位置に合わせてから、使う。	▶	16・20 24
水タンクに水が残った状態で「ピーピーピー」と音が鳴り、ドリップランプが消灯した。	▶	水タンクに水を入れすぎていませんか。	▶	水タンクの の目盛「4」を超えて、水を入れない。	▶	14・15
	▶	できあがりのコーヒーの量が少なくありませんか。	▶	ミネラル成分を取り除く。	▶	24
「ピーピーピー」と音が鳴り、スチームミルクランプが消灯した。	▶	ノズル先端の穴に汚れが付着していませんか。	▶	お手入れする。	▶	23

こんなとき		理由		参照ページ
コーヒーがぬるい。(保温が効いていない)	▶	コーヒーサーバーが保温しますが、時間経過とともに冷めていきます。抽出したコーヒーの量が少ない（1 〜 2カップ）と冷めやすくなります。	▶	17
	▶	寒冷地など、使用環境の厳しい状況では、充分な保温効果が得られない場合があります。		
樹脂部品にキズ（欠け）のように見える箇所がある。	▶	樹脂成形時に発生する跡で、使用上の品質に支障はありません。		
樹脂などのにおいがする。	▶	使いはじめのうちは、樹脂などのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。		
作動音や振動が大きい。	▶	本体内のポンプで水をくみあげ、本体内に水を通す音です。故障ではありません。		
本体上部が熱くなる。	▶	本体上部にあるヒーターが発する熱によるものです。故障ではありません。		
お湯・スチームが出ず、水受けトレイから蒸気が出る。	▶	本体内部の水の経路が詰まっているおそれがあります。お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。		

消耗品・別売品のお買い求めについて

お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口、消耗品･別売品のご購入専用ホームページでお買い求めください。

◆樹脂部品（傷んできたとき）

熱や蒸気にふれる樹脂部品は、ご使用にともない傷んでくる場合があるので交換してください。
（有償修理）

◆パッキン（消耗品）

汚れやにおいがひどくなったり、破損したときは、上記でお買い求めください。

仕様

電源	消費電力（W）	満水容量*（L）	抽出方式	コードの長さ*（m）
100V 50-60Hz	1000	0.56	ドリップ式	1.25

	外形寸法*（cm）			質量*（kg）
	幅	奥行	高さ	
ドリップ時	20.4	28.8	38.2	3.3
スチーム時	20.4	27.4	38.2	2.9

＊印は、おおよその数値です。

保証とサービスについて

修理を依頼される前にまず「故障かな？と思ったら」→P. 25をご覧になり、お調べください。
それでも不具合の場合は、下記に基づき、お買い上げの販売店にご相談ください。

1 保証書の内容のご確認と保管のお願い

保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、「販売店印およびお買い上げ日」をご確認の上、内容をよくお読みになり、大切に保管してください。

2 保証期間はお買い上げの日から1年間です。（消耗品は除きます。）

保証書の記載内容に基づき修理いたします。くわしくは保証書をご覧ください。

3 修理を依頼されるとき

保証期間内 ･･･ おそれいりますが、製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。

保証期間を過ぎているとき ･･･ まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。ご相談の際、次のことをお知らせください。
①製品名　②品番　③製品の状況（できるだけくわしく）

4 コーヒーメーカーの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5 修理料金とは

修理料金とは、おもに技術料と部品代で構成されています。

技術料 ･･･ 不具合内容の原因を診断する作業、故障箇所を修復する作業（修理および部品交換･調整･修理後の点検など）の料金です。

部品代 ･･･ 製品の修復に使った部品の代金です。

6 その他製品に関するお問合せ、ご質問がございましたら、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口（裏表紙）までご連絡ください。

※本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のために、一部予告なく変更することがあります。